

コンパクト冷風扇

取扱説明書

品番 RMT-MX301

もくじ

ページ

安全上のご注意	P1～3
各部のなまえ	P4
本体に保冷剤を入れる	P5
リモコン用ボタン電池のセットのしかた	P6
タンクに水を入れる	P7～8
タンク開閉時のご注意	P8
操作パネル及びリモコンに ついて (ボタン説明)	P9
運転をする	P10
お手入れのしかた	P11～14
(タンクの着脱のしかた	P12)
故障かな?と思ったら	P15
製品仕様	P16

この度は「コンパクト冷風扇」をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品使用上の注意事項および警告事項について詳しく記載しています。

本製品をご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解されたうえで事故が起こらぬように記載内容に従って正しくご使用ください。本製品は一般家庭用に開発された製品です。事故や故障の原因になりますので、業務用としては絶対に使用しないでください。

また、一度お読みになったあとも必要時にいつでも確認ができるように、すぐに取り出せる場所へ大切に保管してください。

製品改良のため、予告なしにデザイン・仕様を一部変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

家庭用



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

人が重傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



記号は、「禁止」(しないでください)を示します。



記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。

安全にご使用いただくために

- ①取扱説明書に記載されていない方法や、一般家庭用以外(業務用など)でのご使用や、用途以外の目的でのご使用は、事故やけがの原因になります。絶対におやめください。
- ②お客様の不注意による破損・けがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ③故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。
- ④取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ⑤本製品はおもちゃではありません。お子様のご使用は避けてください。

警告



分解禁止

絶対に改造、分解、修理をおこなわない

●火災や感電、けがの原因になります。

※修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、操作ボタンを触らない

●感電やけがのおそれがあります。

業務用や使用目的以外に使わない

コンセントや配線器具の定格を超える使いかた(エアコン、冷蔵庫、電子レンジなどの大きな電力を使う機器と併用するたこ足配線)やAC100V 以外では使わない



禁止

●たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火の原因になるとともに、接続している機器の損傷のおそれがあります。

電源コードを束ねたり、引っばったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを載せたり、傷つけたり、加工したり、はさみ込んだりしない

●傷んだまま使用すると感電や故障、発熱や発火で火災の原因になります。

警告



水ぬれ禁止

本体やリモコンを丸洗いしたり、水に浸けたり、水をかけたりしない
●ショートによる感電や故障の原因になります。

お風呂場などの高温・多湿な場所や水のかかる場所では使用しない
●故障や火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、熱くなったり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
●感電やショート、発火のおそれがあります。

子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所での使用や設置・保管はしない
また、おもちゃとして絶対に使わない
●感電やけがの原因になります。

吸気口や吹き出し口のすき間に、ピンや針金などの異物を入れない
●感電や故障、火災の原因になります。

風を長時間、直接身体に当てない
●体調をくずすおそれがあります。
特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方、眠気を誘う薬を服用された方や、深酒、疲労の激しい方はご注意ください。

直射日光のあたる場所や、高温になる場所に放置しない
●故障や色あせ、熱による変形の原因になります。



必ず守る

異常（異音・異臭・焦げ臭い・動かない・ビリビリと電気を感じる・コードを動かすと通電したりしなかったりするなど）があるときには、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止する
●異常があるまま使い続けると、発煙や火災、感電やけがの原因になります。

※お買い上げの販売店にご相談ください。

使用時以外（お手入れ、組立て、分解）は電源プラグをコンセントから抜く
●感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ずプラグ部分を持って抜く
●感電、ショート、発火、破損の原因になります。

⚠ 警告

使用中に、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、使用を中止する

●ショートによる発火のおそれがあります。



必ず守る

電源プラグはコンセントに確実に差し込む

●感電、発熱による火災の原因になります。

電源プラグに付着したゴミやほこりは、定期的に乾いた布で取り除く

●湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

⚠ 注意



禁止



壁にくっつけたり、カーテンなどの障害物の近く、不安定な場所では使用しない

●破損や故障、事故の原因になります。

本製品にタオル、布団などをかけて使用しない

●故障や事故の原因になります。

吹き出し口のそばに物を置かない

●故障や事故の原因になります。

冷風扇の周辺に電気製品、時計、パソコンなどの精密機器を置かない

●湿気によって故障や誤作動の原因になります。

テレビやラジオ、ビデオ、コードレス電話、エアコンなどの機器から1m以上離す

●テレビ画面のチラつきや、雑音が入るなどの電波障害が起こる場合があります。

殺虫剤や掃除用のスプレーをかけない

●樹脂や塗装部が変質したり、破損するおそれがあります。

本体の上に物を置いたり、乗ったり、寄りかかったり、倒したり、強い衝撃を与えない

●故障やけがをしたり、水がこぼれるおそれがあります。

倒した状態で使用しない

●水がこぼれたり、故障の原因になります。

移動するときは、水がこぼれないように静かに平行移動する

●傷がついたり、故障の原因になります。

火気や高温の物に近づけない

●本体の変形によるショート、発火の原因になります。

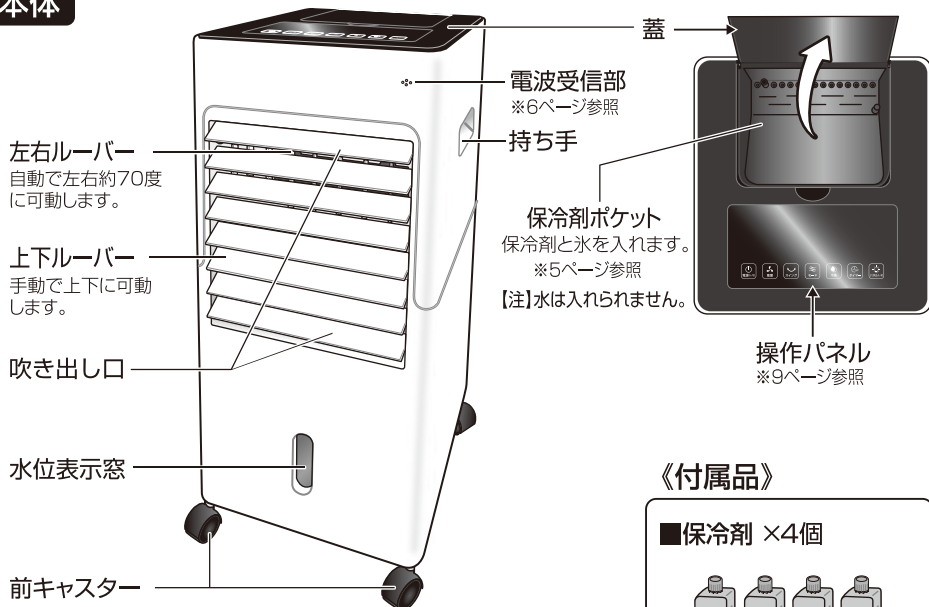
ガスレンジなどの炎の近くや、引火性のある所、雨や水のかかる所では使用しない

粉塵が多量に発生するような場所では使用しない

●モーター破損や故障の原因になります。

各部のなまえ

本体



《付属品》

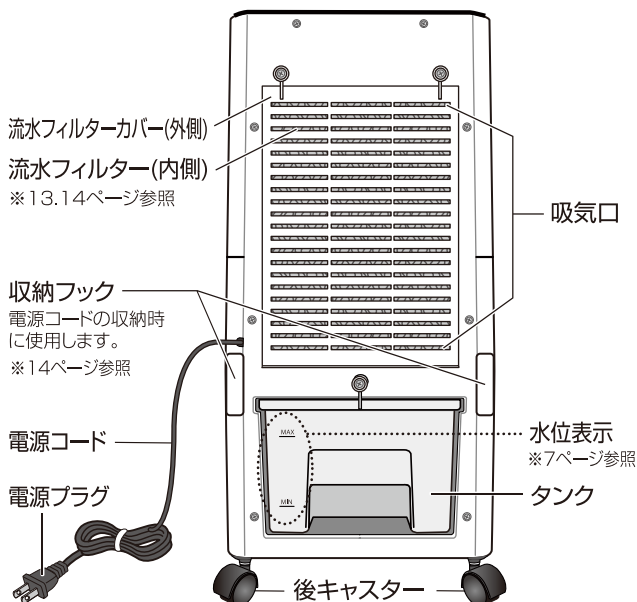
■保冷剤 ×4個



■リモコン



リモコン用
ボタン電池1個
(付属:お試し用)
※6ページ参照
「リモコン用ボタン
電池の交換」参照



**電源コードは束ね
たまま使用しない**

●コードが熱くなり、故障の
原因になります。

本体に保冷剤を入れる

1 保冷剤を冷凍庫で凍らせておく

※保冷剤の冷凍時間は約6時間(目安)です。
ただし、使用環境によって異なりますので
ご使用前にご確認ください。



冷却液の入った保冷剤の蓋は
開けない

2 本体上部の保冷剤ポケットの蓋を開けて 凍らせた保冷剤を入れる

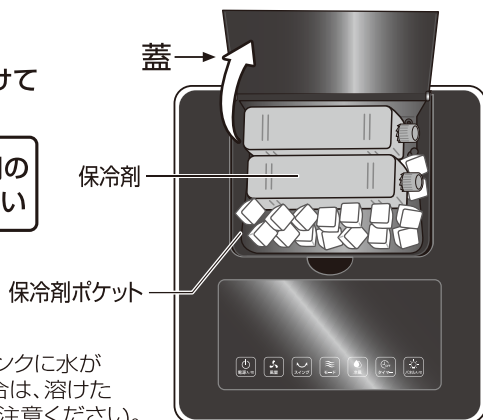


保冷剤ポケットは保冷剤と氷専用の
ポケットです。水は絶対に入れない

※保冷剤と氷を入れることで、保冷剤の
効果がより持続できます。

※水タンクとポケットの両方に保冷剤を
入れると、より涼しい風を送り出せます。

※保冷剤ポケットに入れた氷が溶けると、タンクに水が
流れ落ちます。そのため氷を使用する場合は、溶けた
氷がタンクのMAX線を越えないようにご注意ください。

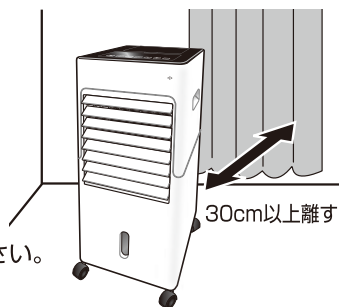


3 保冷剤ポケットの蓋を閉める

保冷剤は4本付属しておりますので、ポケットとタンクの両方に
保冷剤を入れて、より涼しい風を送り出すことができます。

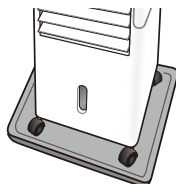
設置について

- 平らで安定した場所に設置します。
- 使用の際は、吸気口をふさがないように設置し、
カーテンなどがある場合は 30cm 以上離して
設置してください。
→カーテンなどが吸気口に吸い付き、故障の原因
になります。
- 吹き出し口前面 30cm 以内には物を置かないでください。



注意

冷風運転をする場合、結露などによって
床が濡れる場合があるため、本体を
トレイなどの水受けの上に置いて
使用されることをおすすめします。



※トレイは付属されておりません。
別途ご用意ください。

■テレビやラジオから1m以上離してください。電波障害の原因になります。

本製品をリモコンで操作する際、下記のような現象が発生する場合があります。

- 1.他社電化製品のリモコンで、本製品が反応する。
- 2.本製品のリモコンで、他社電化製品が反応する。

これはリモコン(赤外線)の周波数が、他社電化製品のリモコンの周波数と重なってしまうことで発生する現象で、製品機能上は問題はありません。誤作動を避けるため、他社電化製品のリモコンが反応しない範囲(本体の向きと距離)でご使用ください。

リモコンで操作する場合の操作ボタンは、
本体の操作パネルのボタンと同じです。

※9ページ参照

※リモコンを使って本体を操作する時は、
リモコンの「電波送信部」を本体の
「電波受信部」に向けて操作ボタン
を押してください。

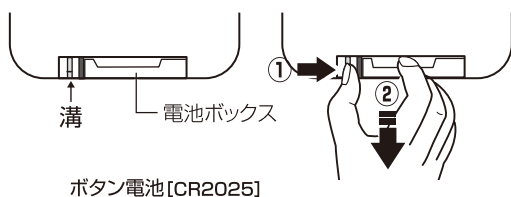


リモコン用ボタン電池のセットのしかた

●リモコンを使用する前に、リモコン裏の電池ボックスを開けて付属のボタン電池[CR2025]をセットしてください。※付属のボタン電池はお試用です。早めに新しい電池と交換することをおすすめします。

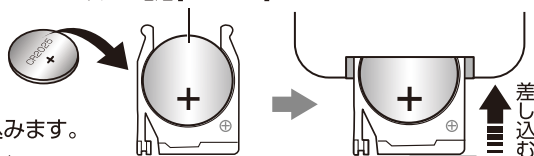
1 リモコン裏の電池ボックスの溝に

- ①爪をかけて内側に押しながら
- ②電池ボックスを引き抜きます。



2 引き抜いた電池ボックスに付属の ボタン電池をセットします。

※ボタン電池の[+]面を上にして
セットします。



3 電池ボックスをリモコン下部に差し込みます。

※「カチッ」と音がするように、最後まで確実に
電池ボックスを差し込んでください。

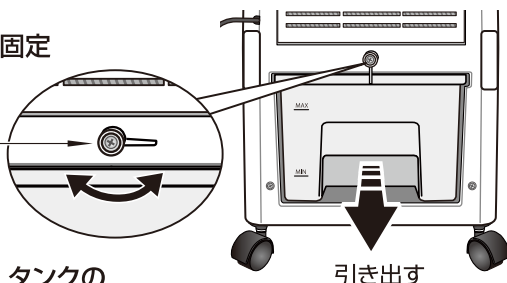


長期間ご使用にならない場合は、ボタン電池を取り出しておいてください。
→電池が液漏れして故障の原因になります。

タンクに水を入れる

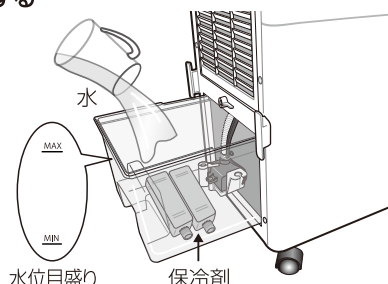
- 1** 本体背面のタンクストッパーを回して固定を解除し、本体からタンクを引き出す

タンクストッパー
※タンクストッパーは、左右どちらにも回ります。



- 2** タンクに凍らせた保冷剤を入れたら、タンクの水位目盛りを見ながら「MAX」の位置まで給水する

※タンクには必ず最初に保冷剤を入れ、そのあとできれいな水を入れてください。
※保冷剤ポケットに入れた氷が溶けると、タンクに水が流れ落ちます。そのため氷を使用する場合は、溶けた氷がタンクのMAX線を越えないようにご注意ください。



熱湯は絶対に使用しない

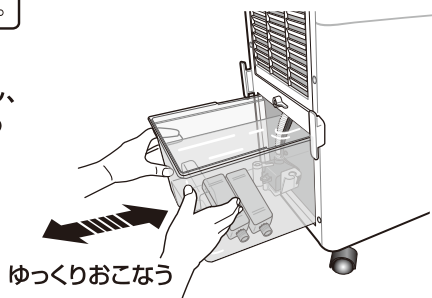
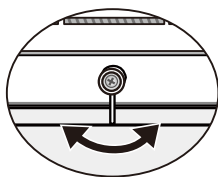
→タンクが変形するおそれがあります。

MAX 以上の水を入れない

→移動するときに水がこぼれる原因になります。

- 3** タンクを静かに押して本体に確実にセットし、タンクストッパーを回してタンクを固定する

タンクのセットが不十分ですと、タンクストッパーが回りません



⚠ 水の入ったタンク 開閉時のご注意

水の入ったタンクを引き出したたり、押して本体にセットするときは、ゆっくりおこなってください。強く開けたり閉めたりすると、タンクから水があふれ出て床を濡らす原因になります。

お願い

吸い上げポンプに残った水が垂れて床を濡らす場合がありますので、事前にタオルなどをご用意ください。



注意

■タンクの水が「MIN」に近づいたら、冷風運転を止めてタンク内に残っている水をすべて捨てて、新しい水に入れ替えてから再度、冷風運転をおこなう

●水が減ってきたら水の注ぎ足しをせずに、新しい水を使って給水してください。

タンクに水がない状態で使用しないでください。

→故障・誤作動の原因になります。

※給水お知らせ機能はありませんので、「水位表示窓」を見て水位の確認をおこなってください。

■気温の高い時期に4～5日間水を入れたままにすると、水が腐って悪臭の原因になります。必ず新しい水に入れ替えて、常に清潔な状態で使用してください。

お願い

■定期的に本体からタンクを取り出して内部を洗ってください。

●12ページ「タンクの着脱のしかた」参照

タンク開閉時のご注意

タンクを取り外す、またはタンク開閉の際は、以下の手順を守っておこなってください。

1.電源を切り、数分ほど置く。

※稼働中に内部を循環していた水を切るため。

2.流水フィルターを取り外す。

※流水フィルターは水を含んでいるため、取り外す際に水がこぼれる場合があります。取り外す際は十分ご注意ください。

3.タンクを取り外す、またはタンク開閉をおこなう。

上記の手順でおこなわない場合、流水フィルターに含まれている水が本体内部にたまり、水漏れの原因になります。

操作パネル及びリモコンについて(ボタン説明)

本体操作パネル



リモコン

リモコンボタンの説明は、本体操作パネルの詳細説明に準じます。



周辺温度&タイマー時間

■「電源 入/切」ボタン

ボタンを押すと「連続」[連続]・「弱風」[弱風] (初期設定) の表示ランプが点灯して送風運転を開始します。もう一度押すと運転が停止します。

■「風量」ボタン

ボタンを押すたびに、風量の「弱」「中」「強」の3段階の表示ランプが点灯し、風量が切り替わります。

[弱] → [中] → [強]
[弱] [中] [強]

■「スイング」ボタン

ボタンを押すと、表示ランプ [スイング] が点灯して、ルーバーが左右に約70度可動します。もう一度押すと動きが停止します。

■「パネル入/切」ボタン

ボタンを押すと、表示ランプ部分が消灯し、再度押すと点灯します。

■「モード」ボタン

ボタンを押すたびに、モードの「連続」「リズム」「おやすみ」が切り替わり表示ランプが点灯します。

[連続] → [リズム] → [おやすみ]
[連続] [リズム] [おやすみ]

■「冷風」ボタン

ボタンを押すと、表示ランプ [冷風] が点灯して流水し、冷たい風を送り出します。もう一度押すとランプが消灯して送風のみになります。

■「タイマー」ボタン

ボタンを押すたびに設定時間が切り替わり1時間～12時間までの1時間単位で設定できます。設定後、周辺温度表示に切り替わりますが、再度ボタンを押すとタイマー設定時間が表示されます。

運転をする

【注】濡れた手で操作しないでください。感電の原因になることがあります。

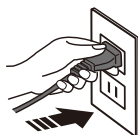
● コンセントに電源プラグを確実に差し込みます。

※「ピー」と鳴って通電します。(待機状態：電源ランプが点灯します。)

※リモコンを使用する際は、本体の電波受信部に向けて操作してください。

● 上下レバーを手で持ち、上にあげて開きます。

※自動では開きませんので、電源を入れる前におこなってください。



送風運転

1. 「電源入/切」ボタンを押して電源を入れる

※周辺温度が表示され、「弱風」「連続」で運転を開始します。



2. 「風量」「スイング」「モード」「タイマー」の各ボタンで好みの設定にする



3. 「電源入/切」ボタンを押して電源を切る



冷風運転

⚠ 注意 タンクに水がない状態で使用しない →故障・誤作動の原因になります。

1. 「電源入/切」ボタンを押して電源を入れる

※周辺温度が表示され、「弱風」「連続」で運転を開始します。



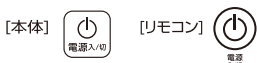
2. 「冷風」ボタンを押す



3. 「風量」「スイング」「モード」「タイマー」の各ボタンで好みの設定にする



4. 「電源入/切」ボタンを押して電源を切る



※「電源入/切」ボタンを押すと、約30秒間送風運転をして自動的に電源が切れます。
すぐに電源を切りたい場合は、再度「電源入/切」ボタンを押してください。

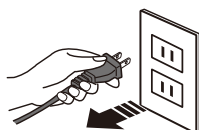


「パネル入/切」ボタンを押すと、操作パネルのランプ部分が消灯し、再度押すと点灯します。

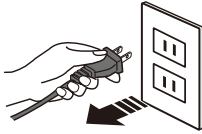
● コンセントから電源プラグを抜く

お願い

使用しない場合は、冷風扇の電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れのしかた



必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう

みがき粉、ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤、化学ぞうきん、金属たわし、硬いたわしなどは使わない
→変色や変形の原因になります。



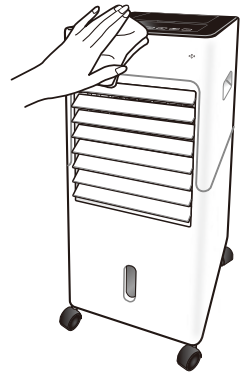
気温の高い時期に、タンクに水を入れたまま4～5日使用しないと、水が腐って悪臭の原因になります。必ず新しい水に入れ替えて常に清潔な状態で使用してください。

本体

水をかけたり、水に浸けたり、丸洗いは絶対にしない

●乾いた柔らかい布で軽く拭きます。

※汚れが落ちにくい場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄めた水をつけて汚れを拭き取ってください。
そのあと、洗剤や水分が残らないように乾いた布できれいに拭いてください。



タンク

タンクの水は定期的に交換し、タンク内部は1ヶ月に1回以上の清掃を心がけてください。



熱湯は絶対に使用しない

→タンクが変形するおそれがあります。

※12ページ「タンクの着脱のしかた」参照

- ① 本体からタンクを引き出して外し、内部をよく洗います。
- ② 柔らかい布で水気を拭き取り、乾燥させます。
- ③ 本体にセットします。



保冷剤

水洗いできます



冷却液の入った保冷剤の蓋は開けない

リモコン

水洗いできません

表面の汚れやほこりを乾いた布で拭き取ります。



電源プラグ

水洗いできません

ゴミやほこりは定期的に乾いた布で拭き取ります。

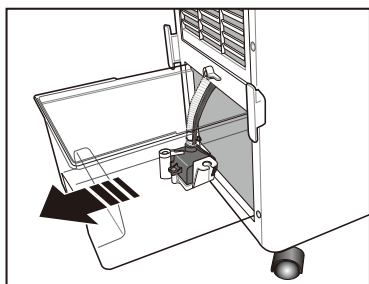


●長期間で使用にならない場合は、ボタン電池を取り出しておいてください。

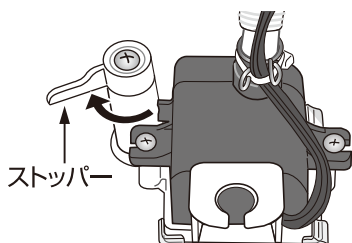
タンクの着脱のしかた

■定期的に本体から取り出してタンク内部を洗ってください。

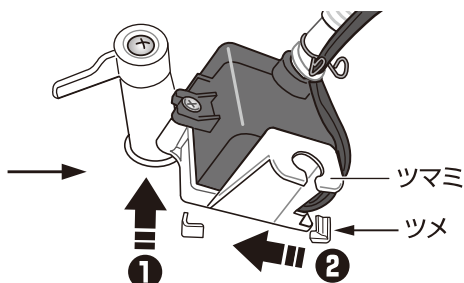
- ①本体からタンクを引き出すと、タンクの底に吸い上げポンプが固定された状態で出てきます。



- ②吸い上げポンプを固定しているストッパーを回して固定を解除します。



- ③ツマミを持ってタンクの底の4箇所
のツメから吸い上げポンプを外します。
※①上に持ち上げながら、②のツメ(2箇所)
から吸い上げポンプを抜き出します。

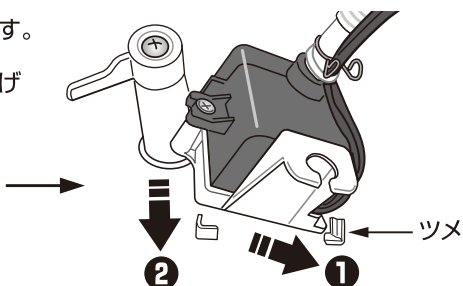


- ④片方の手で吸い上げポンプを持ち上げ、
本体からタンクを静かに引き出します。

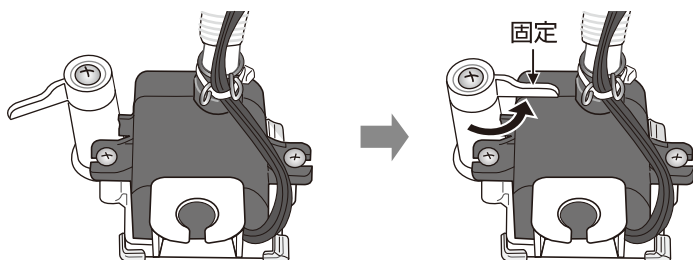
- ⑤引き出したタンクをきれいに水洗いします。

- ⑥タンクを本体に差し込み、外した吸い上げ
ポンプをタンクに戻します。

- ⑦タンクの底の4箇所のツメに①、②の
順番で吸い上げポンプをセットします。



- ⑧ストッパーを回して吸い上げポンプを
タンクの底に固定します。

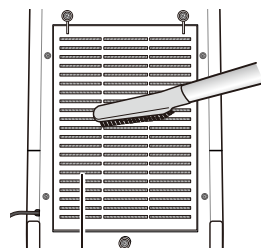


- ⑨タンクの水位表示を見ながら「MAX」の位置まできれいな水を給水します。

流水フィルターカバー、流水フィルター

■流水フィルターカバーにほこりやゴミが付着すると、送風量が少なくなったり、故障の原因になります。普段のお手入れは、掃除機でほこりを吸い取る程度の掃除でもかまいませんが1か月に1回以上は、本体から外して、水洗い掃除をしてください。

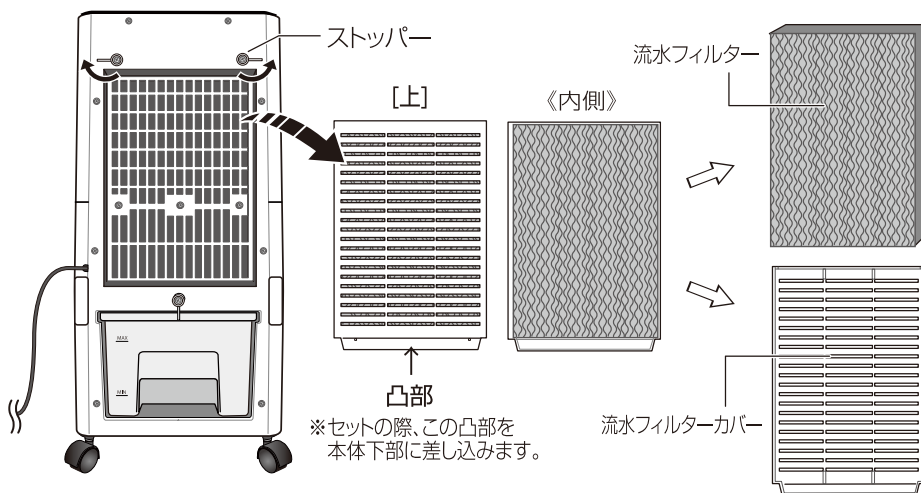
※汚れたまま使用を続けると、悪臭の原因になります。



流水フィルターカバー

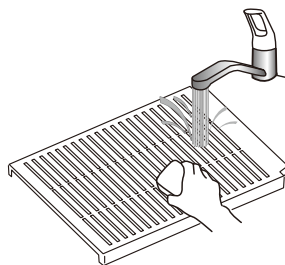
1 流水フィルターカバーと流水フィルターを外す

- ①流水フィルターカバーを固定している上部の2か所のストッパーを回して固定を解除します。
- ②流水フィルターカバーの上部を、手前にやや倒しながら全体を上へ引き上げて取り外します。
- ③内側にセットされている、流水フィルターを取り外します。

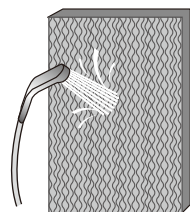


2 流水フィルターカバーと流水フィルターを洗う

- 流水フィルターカバーのほこりをはかるくたたいて落とし、水洗いしてよく乾燥させます。
- 流水フィルターは軽くシャワーをかけて汚れを落とし、ゴシゴシこすって洗わない。



流水フィルターカバー



流水フィルター



力を入れて洗わない

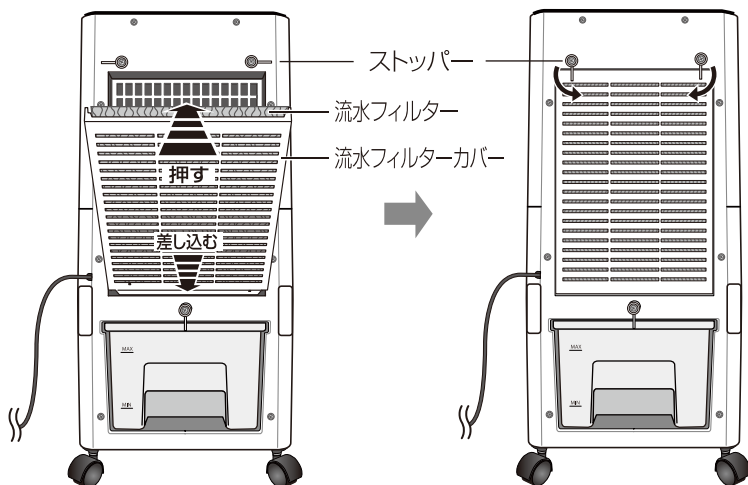
3 流水フィルターを本体に取り付ける

- ①流水フィルターを流水フィルターカバーの内側にセットします。
- ②流水フィルターカバーの凸部(下側)を本体の下部にしっかり差し込み、そのまま本体側に押しつけてセットしたら、ストッパーを回して固定します。



流水フィルターを外したままで、本体の運転は絶対におこなわない

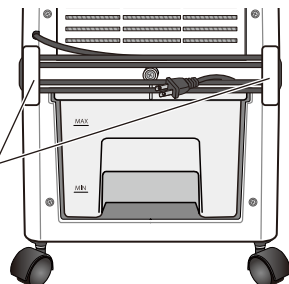
→ 故障の原因になります。



電源コードの収納のしかた

電源コードは、本体背面の左右の「収納フック」に、右図のような状態に巻いて収納してください。

収納フック



故障かな？と思ったら

●修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の事項をチェックしてください。



警告

お客様ご自身で修理、改造することは絶対にしないでください。

こんな時	お調べいただくこと／なおしかた
電源ボタンを押しても風が出ない	●コンセントに電源プラグが差し込まれていますか？ →コンセントに電源プラグを確実に差し込んでください。
冷たい風が出てこない	●タンクの水がぬるくなっていませんか？ →よく凍らせた保冷剤を入れてください。暑い時期ですと温度上昇が早まります。 ●タンクの水が不足していませんか？ →タンクに新しい水を入れてください。(7.8 ページ参照) ●流水フィルターが汚れていませんか？ →流水フィルターを掃除し、水が流れているか確認してください。(13.14 ページ参照)
冷風運転にならない	●タンクの水が不足していませんか？ →タンクに新しい水を入れてください。(7.8 ページ参照)
悪臭がする	●タンクの水が腐敗していませんか？ →タンクを洗って新しい水を入れてください。(12 ページ参照) ●流水フィルターが汚れていませんか？ →流水フィルターを掃除してください。(13.14 ページ参照)
タンクが挿入できない	●タンクから取り外した吸い上げポンプをタンク内に設置しましたか？ →タンクを引き出し、吸い上げポンプをタンク内に固定してください。(12 ページ参照)
水漏れがする	●結露ではありませんか？ →冷風運転をする場合、結露などによって床が濡れる場合があるため、トレイなどを本体の下に置いて使用してください。 ※トレイは付属されておりません。別途ご用意ください。

製品仕様

定格電圧	AC100V	タンク容量	約5.0 L
定格周波数	50/60Hz	電源コード長さ	約1.5m
消費電力	60W	材質	PP樹脂
切タイマー	1時間～12時間	生産国	中国
モード選択	連続・リズム・おやすみ		
風量調節	3段階（弱・中・強）		
重量	約5.0kg		
本体サイズ	約（幅）27×（奥行）31×（高さ）60cm		
付属品	リモコン（お試用ボタン電池 CR2025×1個）、保冷剤×4個		

保管のしかた

- 長期間保管される場合は、本体の汚れをしっかりと拭き取り、水気が残らないように十分乾燥させてください。
- 必ずタンクの水を捨て、タンク内部をしっかりと水洗いし十分乾燥させてください。
- 流水フィルターは完全に乾燥させてください。
- 袋に入れ、購入時に入っていた箱などに入れて、直射日光の当たらない、高温多湿を避けた結露しない場所で保管してください。
- リモコンのボタン電池は取り出しておいてください。

廃棄のしかた

- 自治体のゴミの廃棄方法に従って廃棄してください。

輸入元 **株式会社 丸隆**

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-62-3

《お客様サポートセンター》 TEL 0120-104-300 / FAX 03-5365-3883

受付時間 10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

お問い合わせの際には、製品名・品番をお伝えください。

※FAXの場合、通信料はお客様負担となります。